

# 音読カード

# 2まいめ

## 4年 組 番( )

P12~13  
『春のうた』を読みましょう

よくできた○ できた○  
もうすこし△

- ♪ 場面をの様子を思いうかべたり、かえるの気持ちを想像しながら、音読しましょう。
- ♪ 「ほっ」「ケルルン クック」に、どのようなかえるの気持ちをこめて読むといいでしょうか。考えながら取り組んでみてください。

日にち	読んだところ	声の大きさ	正しく	や○に気をつけて	氣もちをこめて	お家人
5月21日						
5月22日						
5月25日						
5月26日						
5月27日						
5月28日						
5月29日						

# 春のうた

## 春のうた

草野 心平

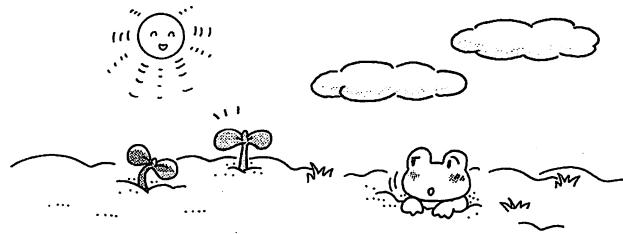
かえるは冬のあいだは土の中にいて  
春になると地上に出てきます。  
そのはじめての日のうた。

ほつ まぶしいな。

ほつ うれしいな。

- (1) ほつ まぶしいな。  
(2) みずは つるつる。

かぜは そよそよ。  
ケルルン クック。  
あいいにおいだ。



(3) 春らしい様子を表している四字の言葉を二つ書き出しましょう。



みずは つるつる。

ケルルン クック。



ほつ いぬのふぐりがさいでいる。  
ほつ おおきなくもがうーいてくる。

- (4) 「ケルルン クック」は、かえるの何を表していますか。一つに○をつけましょう。  
(5) あいいにおいだ。とあります。何のにおいだと思いませんか。想そうして書きましょう。

ケルルン クック。  
ケルルン クック。

- (6) この詩を読んで、かえるのどんな気持ちがわかりますか。一つに○をつけましょう。

- （一）太陽の光がまぶしすぎていやだなあ。  
（一）春になり、とても気持ちがよくて、うれしいなあ。

- （一）土の中でもうとゆうくりねていたかつたなあ。

- (1) この詩は、何が、いつ、どこに出てきた日のことをうたっていますか。

はじめて ( ) が、( ) になり、土の中から  
( ) に出てきた日のこと。

(平成二十七年度版 光村図書 国語 4年(上) かがやき 草野 心平)

金額10点

名前

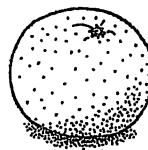
「これは、レモンのにおいでですか。」

「ほりばたで乗せたお客様のしんしが、話しかけました。」

「いいえ、夏みかんですよ。」

「信号が赤なので、ブレーキをかけてから、運転手の松井さんは、にこにこして答えました。」

今日は、六月のはじめ。



夏がいきなり始まつたような暑い日です。松井さんもお客様も、白いワイシャツのそでを、うでまでたくし上げていました。

③

「ほう、夏みかんてのは、こんなにおうものですか。」

「もぎたてなのです。きのう、いなかのおふくろが、速達で送つてくれました。においまでわたしにとどけたかったのでしょうか。」

④ 「ほう、ほう。」

「あまりうれしかつたので、いちばん大きいのを、この車にのせてきたのですよ。」

上の□～③の文章を読んで、答えましょう。

① (1) 松井さんの仕事(しょくぎ)は何ですか。

(2) 車の中(なか)に何(なに)がありますか。あてはまるほうに○をつけましょう。

( ) レモン  
( ) 夏みかん

(3) 松井さんは、なぜブレーキをかけたのですか。

( ) だから  
( ) ような暑い日

(2) どのようない日のことですか。

( ) だから  
( ) ような暑い日

(3) 松井さんに夏みかんを送つてくれたのは、だれですか。

( ) ほう、ほう」と言つたのは、だれですか。

( ) どうなことが、うれしかつたのですか。

(3) あてはまるほうに○をつけましょう。  
( ) おふくろが速達で、夏みかんを送つてくれたこと

( ) 夏みかんが、大きかつたこと

上の□～③の文章を読んで、答えましょう。

松井さんが、はつとしましたのは、なぜですか。

「松井さんは、はつとしました。

「おや、車道のあんなすぐそばに、  
小さなぼうしが落ちているぞ。  
風がもうひとつふきすれば、車が  
ひいてしまうわい。」

（1） 緑がゆれているやなぎの下に、何が  
ちよこんとおいてありましたか。

（2） ぼうしをつまみ上げたのは、だれですか。

かわいい

緑がゆれているやなぎの下に、  
かわいい白いぼうしが、ちよこんと  
おいてあります。松井さんは車から  
出ました。

そして、ぼうしをつまみ上げた  
とたん、ふわっと何かが飛び出し  
ました。

（1） 松井さんが、あわててぼうしを  
ふり回したのはなぜですか。

あてはまるほうに○をつけましょう。

（ ） 急に風がふいてきたから

（ ） もんしろちようを

つかまえようとしたから

なみ木の緑の向こうに  
見えなくなつて  
ひらひら高くまい上がると、  
なみ木の緑の向こうに  
見えなくなつて

しました。

③

②

③

## じばうし ③

名前

上の□～④の文章を読んで、答えましょう。

(松井さんは、道に落ちていた白い  
ぼうしをつまみ上げました。  
そのとたん、ぼうしからちょうど  
飛び出して行ってしまいました。)

「ははあ、わざわざここにおいたん  
だな。」ぼうしのうらに、赤い  
ししゅう糸で、小さくぬい取りが  
してあります。

「たけやまようちえん  
たけの たけお」

⑥ 小さなぼうしをつかんで、ため息を  
ついている松井さんの横を、太った  
おまわりさんが、じろじろ見ながら  
通りすぎました。

⑦ せつかくのえものがいなくなつて  
いたら、この子は、どんなに  
がつかりするだろう。

ちょっとの間、かたをすばめて  
つつ立つていた松井さんは、何を  
思ついたのか、急いで車にもどり  
ました。

運転席から取り出したのは、あの  
夏みかんです。まるで、あたたかい  
日の光をそのままそめつけたような、  
見事な色でした。すっぱい、いい  
においが、風で辺りに広がりました。  
松井さんは、その夏みかんに白い  
ぼうしをかぶせると、  
飛ばないように、石で  
つばをおさえました。



④

松井さんは、なぜ石でつばをおさえ  
ましたか。風でぼうしが  
ようにするため

④

③

( )  
なつたから

まことに

②

(2) せつかくのえもの「えもの」とは  
何ですか。  
(1) 小さなぼうしをつかんでいるのは、  
たけおですか。

③

(3) 松井さんは、なぜこの子が、がつかり  
すると思つたのですか。

## 白いぼうし④

名前

(運転手の松井さんは夏みかんに

ぼうしをかぶせました。)

車にもどると、おかっぱのがわいい女の子が、ちよこんと後ろのシートにすわっています。

「道にまよつたの。行つても行つても、四角い建物ばかりだもん。」

つかれたような声でした。

「ええと、どちらまで。」

「え。——ええ、あの、あのね、菜の花横町つてあるかしら。」

「菜の花橋のことですね。」



上の□～③の文章を読んで、答えましょう。

- (1) 車にもどると、どんな女の子が後ろのシートにすわっていましたか。

(2) 女の子は、松井さんにどこへ行つてほしいと言いましたか。

—— 女の子

(2) 女の子は、松井さんが何をしたときに、男の子の声が近づいてきましたか。

——

(1) 松井さんが何をしたときに、男の子の声が近づいてきましたか。

——

②

「あのぼうしの下さあ。お母ちゃん、

元気そうな男の子の声が近づいてきました。

「あのぼうしの下さあ。お母ちゃん、

元気そうな男の子の声が近づいてきました。

「あのぼうしの下さあ。お母ちゃん、

元気そうな男の子の声が近づいてきました。

「あのぼうしの下さあ。お母ちゃん、

元気そうな男の子の声が近づいてきました。

「あのぼうしの下さあ。お母ちゃん、

元気そうな男の子の声が近づいてきました。

「あのぼうしの下さあ。お母ちゃん、

元気そうな男の子の声が近づいてきました。

③

(3) ぐいぐいから分かる様子はどちらですか。あてはまるほうに○をつけましょう。

( ) そつと引っぱる様子

( ) 力強く引っぱる様子

(4) このあみでおさえてねとは、何をおさえてほしいのですか。あてはまるもの一つに○をつけましょう。

( ) ぼく

( ) ぼうし

( ) 石

## 白いぼうし ⑤

名前

上の□～□の文章を読んで、答えましょう。

- (1) ④ 目を丸くするとは、どのような様子を表していますか。あてはまるほうに○をつけましょう。

( ) おこつている様子  
( ) おどろいている様子

- (2) 松井さんは、なぜ男の子が、おどろいてまほうのみかんと思うと考えたのですか。

「お母さんが、虫とりあみをかまえて、あの子がぼうしをそうと開けたときー」と、ハンドルを回しながら、松井さんは思います。「あの子は、どんなに⑤目を丸くしただろう。」すると、ぽかつと口を〇の字に開けている男の子の顔が、見えてきます。「おどろいただろうな。まほうのみかんと思うかな。なにしろ、ちようが化けたんだからー。」

「ふふふつ。」ひとりでにわらいがこみ上げてきました。でも、次に、「おや。」

⑥松井さんはあわてました。バツクミラーには、だれもうつっていません。ふり返つても、だれもいません。

「おかしいな。」松井さんは車を止めて、考え考え、まどの外を見ました。

そこは、小さな団地の前の小さな野原でした。白いちょうが、二十も三十も、いえ、もつとたくさん飛んでいました。クローバーが青々と広がり、わた毛と黄色の花の交ざったたんぽぽが、点々のもようになつてさいています。

その上を、おどるようになつてさいています。ちようをぼんやり見ているうち、松井さんは、こんな声が聞こえてきました。

「よかつたね。」「よかつたよ。」「よかつたね。」「よかつたよ。」

それは、シャボン玉のはじけるような、小さな小さな声でした。車の中には、まだかすかに、夏みかんのにおいがのこっています。

4

3

1

- ② 松井さんはあわてたのは、どうしてですか。  
男の子は（ ）と考えると思つたから

バツクミラーに（ ）

（ ） いなかつたから

- ③ (1) 小さな団地の前の野原には、何がたくさん飛んでいましたか。

- (2) 松井さんに聞こえてきた声とは、どんな声ですか。二つ書きましょう。

- ④ 車の中には、何のにおいがのこつてありますか。

言語  
都道府県の漢字(1)

名前 \_\_\_\_\_ 年組番 \_\_\_\_\_ 小学校4年・国語  
/19問

❶ ( )には――の漢字の読みを、□には――はまる漢字を書きましょ。

① 大分の温泉地。

② 牛タンといえは宮城県。

③ 西郷どんは鹿児島出身。

④ 米どころ、新潟県。

⑤ さわやかフレッシュ愛媛のみかん。

⑥ 群馬の温泉まんじゅう。

⑦ 滋賀県には日本一の湖がある。

⑧ 修学旅行で奈良に行く。

⑨ 沖縄の真っ青な海で泳ぐ。

⑩ 長崎の大浦天主堂。

とう きょう。

やま がた。  
県のさくらんぼ。

やま がた。  
県のさくらんぼ。

しま ね。  
県にキャンプへ行く。

しづ おか。  
富士山の  
県側。

あき た。  
なまはげが守る  
県。

さい たま。  
美しい山々がある  
県。

やま なし。  
県にキャンプへ行く。

なが の  
県。

ほつ かい どう。  
で流氷を見る。

10-4-1-1089-017-01-1  
©TOKYO SHOSEKI  
©TOKYO SHOSEKI

## 都道府県の漢字(2)

名	前	年	組	番
/20問				

1 ( )には——の漢字の読みを、□には当てはまる漢字を書きましょう。

① 大阪の有名なタコ焼き店。

② 千葉のテーマパークで遊んだ。

③ 鳥取県には砂丘がある。

④ 蟹気楼見えるかな、富山県。

⑤ 熊本城の石垣。

⑥ ハコフグちょうちん山口県。

① 知 —

なが  
あい

③ 崎 —

みや  
こう

② 知 —

みや  
こう

④ 崎 —

とく  
いし

⑤ 川 —

とく  
いし

⑥ 島 —

ひろ  
か

⑦ 島 —

ふく  
か

2 同じ漢字を使った都道府県を集めました。□に当てはまる漢字を書きましょう。

⑧ お伊勢参りで

ひょう  
ご

⑨ 県の明石焼き。

あか  
ご

10 県で歴史に触れる。

れき  
ふ

11 県へ。

み  
え

さ  
が

12 県でわんこそば。

わん  
こ

3 都道府県でしりとりを作りました。( )には——線の漢字の読みを、□には当てはまる漢字を書きましょう。